



■ ■ ■
携帯電話等の家庭教育宣言のその後

桂川町立桂川中学校
 校長 安永保之

昨年度、携帯・スマホによる書込み等による生徒間の問題は5件ありました。今年のPTA総会で「携帯電話等に係る桂川中家庭教育宣言」の決議以来、今のところ問題は0件です。しかし、表面に出ていないのかもしれない。

10月より、福岡市内全小中学校も「宣言」と同じことが実施されます。携帯電話等による子どもへの被害は、深刻かつ解決に時間がかかります。下の表は、9月末アンケートの結果です。いま一度、お子さんと話し合い、ルールを決めましょう。

【宣言内容】

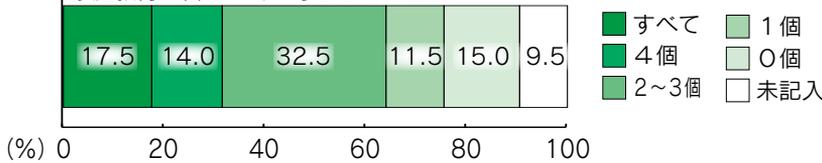
- ① 携帯電話等（スマホ、LINE）によるコミュニケーションを極力避けるようにする。
- ② 携帯電話等（スマホ、LINE）の自宅での使用は、リビングに限定し、夜9時から朝の6時までには、親に預けるようにする。

「桂川っ子」の文字は、桂川中学校美術部員がデザインしたものです。

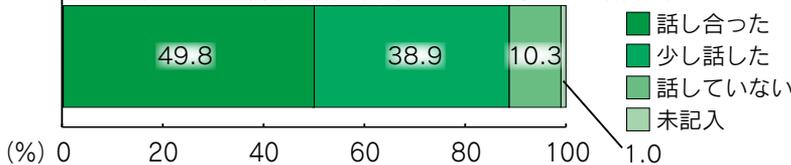


桂川中学校保護者へのアンケート（平成26年9月末実施）

家庭教育宣言をいくつ守らせているか



スマートフォン、携帯電話の使用についてお子さんと話し合ったか



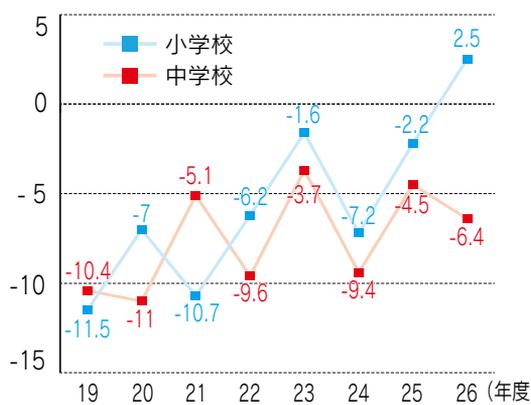
- ③ 通信内容は、いつでも親が確認できるようにする。
- ④ 携帯電話等にはフィルタリング機能をつける。
- ⑤ 人と話している時、食事中、勉強時間中、自転車の運転中は使用しないなどルールを決めるようにする。

■ ■ ■
平成26年度「全国学力学習状況調査」及び「県学力実態調査」における桂川町の児童・生徒の状況（その1）

桂川町教育委員会

本年度の4月に実施された「全国学力・学習状況調査」、6月の「県学力実態調査」の結果の概略を報告します。

学力・学習状況調査の推移 県平均との比較
 (小学校4教科・中学校5教科の正答率)



【小学校6年生】
 国語・算数ともに、それぞれ全国平均正答率を上回りました。県が実施した学力実態調査でも、社会、理科ともに県の平均正答率を大幅に上回っています。

【中学校3年生】
 国語・数学ともに、全国の平均正答率に至りませんでした。また、社会・理科・英語も県の平均正答率に達していませんでした。しかし、調査が始まった平成19年度から、年によって差が開いたり縮まったりはしているもの

の、全国や県との差は縮小してきています。これだけの伸びを示すことが出来た大きな要因としては、家庭学習等の充実があつていからだと思います。

学校でも、さらに学力を伸ばすために「学力向上プラン」を検証し、教育実践に取り組んでいます。学校での学習だけでなく、家庭学習の中身を吟味し継続的に取り組むことが出来るようにしています。家庭でも様子を見てあげ支援をしていけば、子ども達の学力は、さらに伸びるものと思います。

- ① 学校で学んだ知識や技能を反復練習させ、定着を図ることが出来ます。
 - ② 学校で学んだ知識や技能を実際の生活で応用し、発展させることが出来ます。
 - ③ 新しい教材について予習させ、学校での学習効果を高めることが出来ます。
 - ④ 自発的、自主的に学習するよい学習習慣を身につけさせることが出来ます。
- 人間は学習後1時間で約50%、1日後には約60%、2日後には約70%を忘れてしまうという研究結果があります。また、学習後なるべく早く復習をする、忘却がかなり少なくなるという研究結果もあります。このように、学習後なるべく早くに反復練習をしながら定着させることは大変意義があることだと思います。
- 子ども達に学習習慣を身に付けさせるためには、家庭の協力が大切になってきます。町PTA作成の「家庭学習のすすめ」を活用し学習支援をよろしく願います。